

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は9月25日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

日本在宅看護学会 第14回学術集会 (ハイブリッド開催)

日時 11月16日(土)～17日(日)

開催方法 現地会場 オンデマンド配信(11月16日(土) 9:00～11月30日(土) 17:00)

会場 クロス・ウェーブ船橋(千葉県船橋市)

テーマ 多様性がインフィニティ(∞)在宅看護

プログラム 集会長講演「多様性と在宅看護」岩本大希(日本在宅看護学会第14回学術集会長)／シンポジウム1「栄養は全てに通ずる…これからの多様な食支援の実践」五島朋幸(ふれあい歯科)と、白坂誉子(日ゆり訪問看護ステーション)、鈴木瑞恵(大和大学保健医療学部)／2「報酬改訂が向かい風でも在宅のリハは重要だ！…これからの時代の在宅リハビリテーション」張本浩平(株式会社gene代表取締役、内藤麻生(訪問リハビリテーション協会理事、株式会社ハナミズキ訪問看護ステーション)つばみ代表取締役、糟谷明範(株式会社シンクハピネス代表取締役)／3「既

存の制度からはみ出たニーズを拾え！…これからの「はみ出しケア」関口優樹(医療法人かがやき)、菊池郁希(オレンジホームケアクリニック)、山内もも子(株式会社社会社CNC)／4「小児在宅実践の多様性」津村明美(認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト)、川尻彩織(はぎもと助産院)、梶原厚子(株式会社スベール)、澤野由佳(しずく訪問看護ステーション)／5「プラチナナースたちから学ぶこれからの看護師人生」伊藤清子(認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト)、徳江幸代(株式会社せせら、訪問看護ステーション)から、濱田安岐子(NPO法人看護職キャリアサポート)、中村智子(公益社団法人東京都看護協会東京都ナースプラザプラチナナース支援係)／6「特定行為を在宅看護に活かす―現状と展望」橋朋絵(ゆみのハートクリニック)、田中隆司(ソフィアメディック)、中山法子(糖尿病ケアサポートオフィス)、勝部猛彦(社会福祉法人寿光会特別養護老人ホーム、ケアハウスりんどうの里)／7「精神科領域における在宅看護の可能性を多様な視点から考える」小松容子(宮城大学看護学群)、堤真

紀(みのり訪問看護ステーション)、校條文(訪問看護ステーションナル)、加藤伸輔(ピアサポートグループ在)／8「多様なニーズを支える中堅スタッフへの教育支援―これからの必要な生涯学習支援」佐藤直子(聖路加国際大学大学院看護学研究所)、佐藤十美(セコム医療システム株式会社) 訪問看護ステーション看護部、藤野泰平(株式会社デザインケアみんなのかかりつけ訪問看護ステーション)、服部絵美(白十字訪問看護ステーション)／学術集会企画「能登半島地震での活動」DICCATの立ち上げから現在までを通して「山岸暁美(一般社団法人コミュニティヘルス研究機構)教育講演1「発達障害のある(かもしれない)看護職の理解と支援」川上ちひろ(岐阜大学医学教育開発研究センター)／2「患者の意思決定にどう関わるか?」尾藤誠司(三鷹市野村病院特任副院長)／交流集会1「見直しませんか『座りケア』―在宅看護における座位姿勢と移乗動作のアクセスメント」／2「これからの日本の『地域』に必要な『居場所』とは―訪問看護を通じて気づいたこと」／3「病院から訪問看護サービスへ『看護がつながる』」／4「在宅看護のコミュニケーション

か?」／5「日本語版オマハシステムを活用した在宅看護の実践と評価の可視化」／6「訪問看護の質を保証・向上するシステムづくり…みんなできるとくみませんか?」／7「看護師視点のものをづくり―在宅医療現場での看護師の案を商品化する」／8「医療的ケア児の地域生活を支える多職種連携―職種の垣根を超えて今こそ語り合おう」／9「新卒・新任看護師が育つステーションとは―『振り返り』ってどうしてますか?」／10「訪問看護のハラスメントの実態と対策に関して」／11「在宅における栄養管理のインフィニティ(∞)」

参加登録方法 Webサイトの登録フォーム(<https://ancho4n.sts.jp/join.htm>)より

参加登録期間 「後期登録」11月28日(木)12:00まで

参加費 会員1万1000円、非会員1万3000円、学生1000円

※学生は看護学の基礎教育課程の学生のみ。申し込みと同時に「学生証」または「在学証明書」のコピーを問い合わせ窓口までメールに添付して提出

※クレジットカード決済のみ。当日受付はなし

関連営業事務局
エイトカラーズ合同会社

〒468-0011
名古屋市中区平針3-22-11
12A

✉ janhc14th@eightcolors.co.jp
https://janhc14th.site-s.jp/
index.html

第20回在宅医療推進 フォーラム (ハイブリッド開催)

日時 11月23日(土・祝) 9:30~
17:00(開場9:00)/アーカイブ
配信(後日配信予定)

会場 東京ビッグサイト国際会議
場(東京都江東区)

テーマ どうなる、どうする在宅
医療——近未来の地域づくり

プログラム ブロックフォーラム

「あなたの地域の在宅医療、どう
なる?どうする?」太田秀樹(全
国在宅療養支援医療協会事務総長、
島田潔(全国在宅療養支援医療協会
事務局長)、飯田智哉(巡る診療
所院長)、西山順博(医療法人西
山医院 院長)、長野宏昭(いきが
い在宅クリニック院長)、蘆野吉
和(日本ホスピス・在宅ケア研究
会理事長)/基調講演「今こそ考
える在宅医療の姿——これまでの
歴史と現在地そして未来へ」武田
俊彦(日本在宅ケアアライアンス
副理事長)/特別講演1「包括的
居住支援における在宅ケア」高橋

紘士(元高齢者住宅財団理事長)
/2「暮らしの中で逝くとどう
なると」市原美穂(全国ホームホス
ピス協会理事長)、岡本峰子(朝日
新聞パブリックエディター)/パ
ネルディスカッション「どうなる
どうする 終の棲家」宮武剛(在宅
医療助成勇美記念財団理事)、秋
山正子(暮らしの保健室室長)、
笹井肇(武蔵野市前副市長)、早
川貴裕(栃木県保健福祉部医療政
策課主幹)、小島美里(NPO暮
らしネット・えん代表理事)、習
田由美子(厚生労働省医政局看護
課課長)、時田佳代子(社会福祉
法人小田原福祉会理事長)

定員 1000名(先着順・予定)

申込締切 11月11日(月)

申込方法 公式Webサイトの申
込フォームより

参加費 無料

問 参加申込等について

第20回在宅医療推進フォーラム運
営事務局
☎050-8893-3346

(平日のみ:10:00~17:00)

FAX 052-957-4801

✉ forum@yuumi.or.jp

・フォーラムの内容等について
公益財団法人在宅医療助成勇美記
念財団

☎03-5226-6266(平
日のみ:10:00~17:00)

✉ forum@yuumi.or.jp
https://www.yuumi.or.jp/doc
tor_forum/forum_20th/

全国訪問看護事業協会令 和6年度研修会 (Web開催)

◎第2回訪問看護ターミナルケア
集中講座——訪問看護が支える在
宅ターミナルケア

募集期間 10月1日(火)~11月15
日(金)

オンデマンド配信 11月21日(木)

2025年2月28日(金)

対面研修 2025年1月25日

(土)(会場II大阪)

受講料 会員2万5000円、非

会員4万5000円

対象 訪問看護に従事する看護師
等

定員 70名

概要 「オンデマンド」【3時間】

在宅ターミナルケアの考え方と取
り巻く法的知識、プロセスとケア
のポイント、ガン治療の現状と動
向、看取りにおける医師との連携、
在宅ホスピス緩和ケアの実際、病
院以外での相談支援の実践、退院
支援の進め方と実際、臨死期のケ
アと専門職が行うエンゼルケア、
【対面】【1日】疼痛コントロール
の理論と実際、症状緩和の実際、
事例検討(意思決定支援の実際)

問 全国訪問看護事業協会
☎03-6351-5000
✉ webseninar@zenhokan.or.jp
https://www.zenhokan.or.jp